

滋 農 技 セ 第 231 号
令和 6 年（2024 年）6 月 3 日

関係機関の長 様

滋賀県農業技術振興センター所長
（ 公 印 省 略 ）

令和 6 年度一番茶萌芽状況および実収について（報告）

このことについて、別紙のとおり報告します。

担当：滋賀県農業技術振興センター
茶業指導所 忠谷 浩司
TEL 0748-62-0276
FAX 0748-62-7095

令和6年度一番茶萌芽状況報告

滋賀県農業技術振興センター茶業指導所

1. 萌芽期

本 年	前 年	前5か年
4月6日	3月31日	4月5日

2. 生育状況

項目	年次	4月17日	4月22日	4月27日	5月2日
新芽長 (cm)	本年	1.34 ± 0.44	2.92 ± 0.91	5.58 ± 1.60	8.48 ± 2.36
	前年	1.17 ± 0.51	2.66 ± 0.91	4.04 ± 1.12	6.15 ± 1.29
	前5か年	0.76 ± 0.34	1.67 ± 0.61	3.07 ± 0.96	4.63 ± 1.31
新葉数 (枚)	本年	0.58 ± 0.50	1.76 ± 0.48	2.60 ± 0.53	3.54 ± 0.50
	前年	1.10 ± 0.76	2.10 ± 0.74	2.48 ± 0.79	3.36 ± 0.63
	前5か年	0.46 ± 0.45	1.09 ± 0.64	1.82 ± 0.69	2.63 ± 0.68

3. 気象表

項目・年次 月・旬	平均気温 (°C)			最高気温 (°C)			最低気温 (°C)		
	本年	前年	平年	本年	前年	平年	本年	前年	平年
1月 上旬	4.3	3.4	2.9	10.3	8.9	8.0	-0.9	-1.5	-1.2
	4.1	4.7	2.6	9.3	10.9	7.8	-0.3	-0.1	-1.6
	3.5	0.0	2.3	8.3	5.1	7.3	-0.2	-3.8	-1.8
2月 上旬	3.6	3.4	2.2	8.6	9.0	7.7	-0.3	-1.6	-2.3
	8.3	4.7	3.2	13.8	9.4	8.5	3.0	0.5	-1.3
	4.8	3.1	4.3	8.5	8.5	10.1	1.5	-1.2	-0.7
3月 上旬	4.1	7.7	5.3	9.4	15.8	11.0	0.0	0.5	0.3
	6.3	9.6	6.6	12.8	17.2	12.9	-0.2	2.3	0.9
	7.8	11.2	7.9	13.7	17.6	14.1	2.5	5.5	2.2
4月 上旬	13.0	12.3	10.1	18.6	19.3	16.5	7.0	6.1	4.2
	15.7	13.5	12.0	22.7	20.1	18.4	9.5	7.5	6.1
	17.0	13.2	13.7	21.5	18.9	20.0	13.0	7.5	7.8
5月 上旬	15.8	15.8	15.9	21.5	22.6	22.3	10.3	9.7	10.1

項目・年次 月・旬	降水量 (mm)			降水日数 (日)		
	本年	前年	平年	本年	前年	平年
1月 上旬	11.5	4.5	16.5	5	5	3.9
	22.5	18.0	19.3	7	2	3.8
	20.0	10.0	24.8	5	7	4.6
2月 上旬	25.5	19.5	18.7	3	3	4.4
	9.0	18.0	26.5	5	4	4.3
	24.3	17.0	22.5	7	4	3.5
3月 上旬	17.3	8.5	31.9	3	1	4.5
	27.3	11.0	31.7	4	3	3.9
	52.0	28.5	37.8	5	4	4.6
4月 上旬	82.5	34.5	34.8	6	3	3.7
	3.0	40.5	34.4	2	7	4.2
	47.5	58.5	33.9	7	4	3.7
5月 上旬	25.0	92.5	38.2	3	3	3.5

終霜日 本年 3月29日 (最低気温 1.3°C) 前年 3月30日 (最低気温 0.6°C)
最低極温 本年 -4.3°C (3月2日) 前年 -9.3°C (1月26日)

4. 供試園の条件

品 種	定植年次	栽植密度	樹高	株張り	その他
やぶきた	昭和31年3月 (69年生)	180cm×30cm	110cm	180cm	防霜ファン設置ほ場

年間施肥成分量 (kg/10a) N:53.3 P₂O₅:16.0 K₂O:19.0

5. 概況

1) 気象

本年の1月から2月の気温は、概ね平年より高く推移し、特に2月中旬の平均気温は平年よりかなり高かった。3月の平均気温は概ね平年並みであったが、4月は平年より高く推移し、特に4月下旬はかなり高かった。

1~3月の降水量は、2月中旬と3月上旬に平年より少なかった他は概ね平年並みで推移した。4月上旬は平年よりかなり多く、4月中旬はかなり少なかった。

2) 生育

1月から2月にかけて暖冬傾向であったが、3月の平均気温は平年並みとなり、一番茶萌芽期は前年より6日遅く、前5か年平均より1日遅い4月6日となった。

その後、4月の平均気温が平年より高く、降水量が4月上旬および下旬で多かったため新芽の生育は早まった。

令和6年度一番茶実収報告

滋賀県農業技術振興センター茶業指導所

1. 摘採日

本年	前年	前5か年
5月4日	5月4日	5月8日

2. 生葉収量 (kg/10a)

本年		前年		前5か年	
収量	指数	収量	指数	収量	指数
578 ± 57	135	313 ± 69	73	429 ± 56	100

3. 百芽重 (g)

本年		前年		前5か年	
重量	指数	重量	指数	重量	指数
43.3 ± 5.2	112	31.6 ± 3.6	81	38.8 ± 3.4	100

4. 新芽数 (本/m²)

本年		前年		前5か年	
芽数	指数	芽数	指数	芽数	指数
1282 ± 150	103	1388 ± 74	112	1240 ± 102	100

5. 出開度 (%)

本年	前年	前5か年
45	24	44

6. 概況

1) 生育

本年の一番茶は、萌芽期が前5か年平均より1日遅かったものの、4月の平均気温が平年より高く、降水量が4月上旬および下旬が多かったため新芽の生育は早まった。摘採日は前年と同じ、前5か年平均より4日早い5月4日であった。

新芽数は、前5か年平均とほぼ同じ（103%）であったが、百芽重が前5か年平均より重かった（112%）ことから、生葉収量は前5か年平均より35%多い578kg/10aとなった。

2) 県内の状況

平坦地の摘採始めは4月26日頃、山間地は4月29日頃となり、両地区ともに平年より5日程度早かった。収量は平坦地、山間地ともに平年並みであった。

3) 病害虫の発生

病害虫の発生は少なく、一番茶の生育・収量への影響はなかった。